

広報えんがる

瓦版

遠軽厚生病院 産婦人科医師

2人目決定

7月21日、佐々木修一遠

軽町長とJA北海道厚生連
遠軽厚生病院の東裕二事務
次長が記者会見を行い、遠
軽厚生病院に、新たに産婦
人科医師1人の常駐が決定

したことを発表しました。

遠軽町・湧別町・佐呂間
町の遠軽地区3町では、昨
年の医師赴任後も「遠軽地
区地域医療対策連携会議」
による産婦人科医師の確保



記者会見を行う佐々木町長と東事務次長

に向けた取り組み
を継続しており、
その成果として本
年9月から新た
に、同病院に関西
方面の病院で勤務
していた女性医師
1人の常駐が決定
したものです。

謝申し上げます。9月1日
から常駐して妊婦の診療に
当たるということで、常勤
医師2人体制となり、従来
からの出張医と協力して、
さらに診療を充実させてい
くと報告を受けていること
から、現在受け入れること
ができないハイリスクの
妊婦の分娩再開についても
期待をするところです。

しかしながら、2人の医
師体制では、まだ不十分で
あります。これまで、塩崎
厚生労働大臣にも直接実情
を説明できる機会を度々
いただき、医師配置の地域偏
在解消について訴えてきま
した。こうした要請活動
もあってか、厚生労働省
は、大学を卒業し、その地
域で働く医師の地域枠につ
いて、地元限定にするよう
都道府県に求める方針を決
めたようであります。遠軽
地区といたしましては、今

2017年(平成29年)
8月4日(金)
発行：遠軽町役場
総務部企画課
電話 42 - 4818
FAX 42 - 3688

後も産婦人科医師の確保
に向けて取り組むととも
に、地方にも医師が来てく
れるよう、引き続き制度改
正を国、道に訴えてまいり
ます」と、今後の継続した
取組みについて話していま
す。

また、会見に同席した東
事務次長は、矢吹院長のコ
メントとして「現在、遠軽
厚生病院では、小児科常勤
医が4人から2人に減員し
ているため、出産後の新生
児対応などを考慮した場
合、今年度については、現
状以上の分娩件数を取り扱
うことは困難と判断してい
ます。いずれにしましても、
引き続き、産婦人科医
師並びに各診療科の医師確
保に向けて3町のご理解・
ご支援をいただきながら
、さらに地域に選ばれる
病院運営を目指してまいり
ます」と話していました。

女子ラグビーワールドカップ2017

日向寺亜依選手

日本代表に選出



日向寺亜依選手
((公財)日本ラグビーフットボール協会提供)

遠軽高校を卒業し、現在
は東京フェニックスラグ
ビークラブに所属する日向
寺亜依選手が、8月9日か
らアイルランドで開催され
る、女子ラグビーワールド
カップ2017アイルラン
ド大会の日本代表に選ばれ
ました。

22歳の日向寺選手は、遠
軽高校3年生の時に、当時
所属していたバレー部を引
退後、兄の影響でラグビー
を始め、同校ラグビー部で
男子部員に交じって練習を
重ねました。

卒業後も社会人チームで
厳しい練習に耐え、その努
力と身体能力の高さによる
実力が評価され、平成27年
には日本代表に選出。当時

日本代表が一度も勝利した
ことがなかったカザフス
タン戦で初出場を果たし、
チームの勝利に貢献。しか
し、平成28年も日本代表に
選出されたものの、9月に
故障していた右肩を手術し、
その後も日本代表復帰を目
指してリハビリとトレーニングに励んできました。

そのかいあってこのたび、
日本代表に再選出された日
向寺選手は「他のメンバ
ーからの激励もあって、ここ
までやってくることができ
ました。今回は北海道から出場
する唯一の選手として試合
で活躍することで、北海道
にラグビーの文化を広めた
い」と、初めて臨むワール
ドカップへの意気込みを話
していました。

なお、女子ラグビーワ
ールドカップ2017アイル
ランド大会は8月9日から
26日まで開催されます。頑
張れ！日向寺選手！